

# インベスターZ

INVESTOR - Z



episode.2

## 分散投資のチカラ

©三田紀房/コルク



三井住友アセットマネジメント

SMAM

三井住友アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

# 分散投資のチカラを、漫画のカタチで



## Collaboration

### ■ 物語

北海道札幌市にある全国屈指の学業成績を誇る私立の男子中高一貫校・道塾学園にトップの成績で入学した財前孝史は、生徒6人で構成される「投資部」に入学した。

学園の創設者・藤田金七の方針により、開校以来生徒やその家族には授業料などの金銭的負担を一切かけないことになっているが、実際は投資部員が学園の資産3000億円を運用した利回りにより、学食で提供される食事や教職員の給与、施設の維持拡張に至るまですべての経費が賄われていた。

※週刊モーニング(講談社)にて好評連載中



### ■ 三田 紀房(みた・のりふさ)…インベスターZ作者

1958年生まれ、岩手県北上市出身。明治大学政治経済学部卒業。代表作に『ドラゴン桜』『エンゼルバンク』『クロカン』『甲子園へ行こう!』など。『ドラゴン桜』で2005年第29回講談社漫画賞、平成17年度文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞。現在、「モーニング」「Dモーニング」(<http://app.morningmanga.jp/>)にて「投資」をテーマにした『インベスターZ』を、「ヤングマガジン」にて「高校野球」をテーマにした『砂の栄冠』を連載中。

三田紀房公式サイト <http://mitanorifusa.cork.mu/> 公式ツイッター @mita\_norifusa

### ■ 主な登場人物

#### 《道塾学園投資部》



財前 孝史 ……中学1年生で100億の運用を任された主人公。大の負けず嫌い!



神代 圭介 ……高校3年生。主将かつ完璧。運用資金1500億円。



渡辺 信隆 ……高校2年生。いつも竹刀を持っている。運用資金500億円。



富永 大貴 ……高校1年生。理論派。運用資金400億円。



安ヶ平 慎也 ……中学3年生。キレイ好き。運用資金300億円。



月浜 蓮 ……中学2年生。後輩想い。運用資金200億円。

#### 《桂蔭学園女子投資部》



藤田 美雪 ……中学1年生。道塾創設者の玄孫。運用資金2000万円。



町田 倫子 ……中学1年生。中流家庭育ち。興味本位で株を始める。



久保田さくら ……中学1年生。母子家庭育ち。学費を賄うため株を始める。



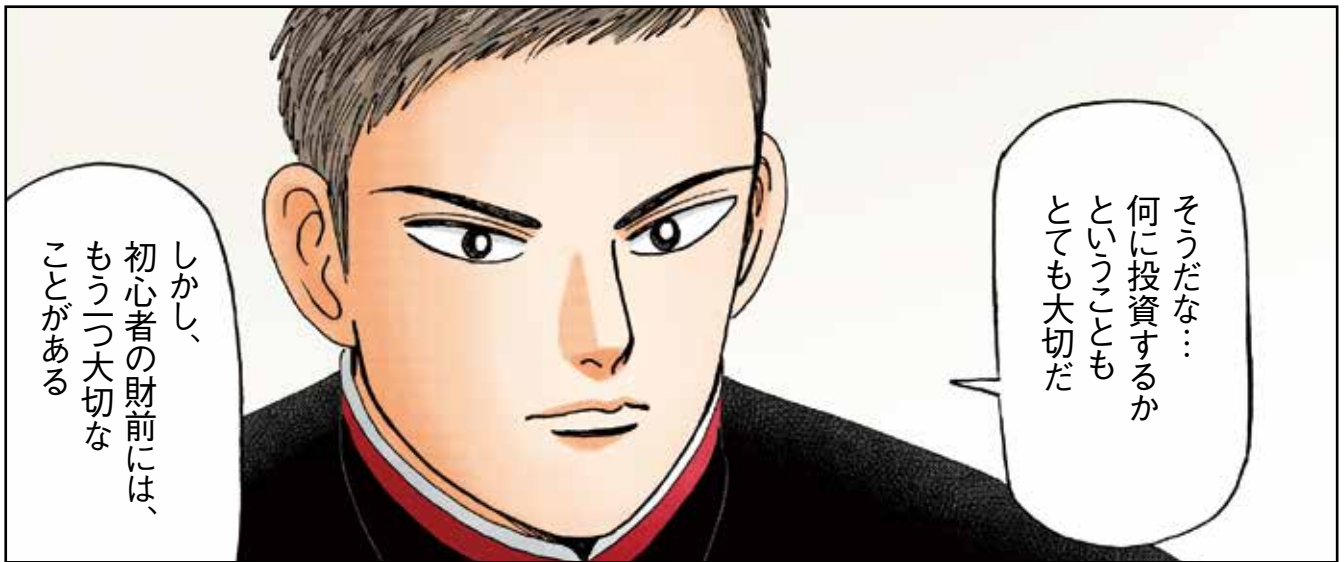
先輩、  
何か良い方法って  
ありますか？

思いつくのは  
株式とかかな…



運用の大切さは  
分かったけど…

実際には何に  
どうやって運用すれば  
いいんだろう



そうだな…  
何に投資するか  
ということも  
とても大切だ

しかし、  
初心者の財前には、  
もう一つ大切な  
ことがある

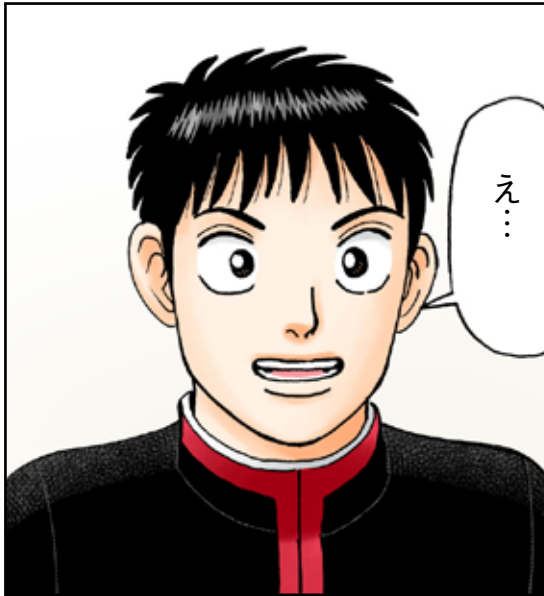


知っていますよ！  
値下がりしてしまう  
可能性のことですよ



それは「リスクを  
抑えつつ安定的に  
運用する方法」だ

財前、投資の世界で  
言う「リスク」とは  
何か知っているか？



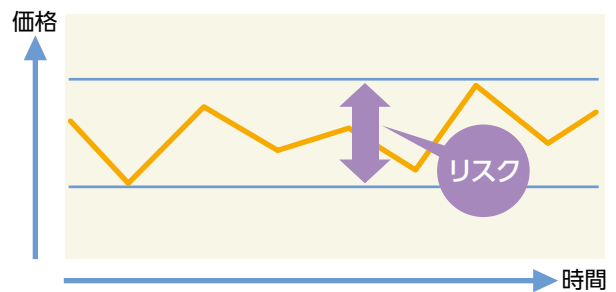
## リスクって怖いもの？

リスクと聞くと、「危険」というような言葉のイメージがありますが、投資の世界で言うリスクとは、リターンが上下に振れる「**ふれ幅**」を指します。一般的に、「リスクが大きなものほどリターンが大きい」、「リスクが小さいものほどリターンが小さい」という傾向があります。

リスクのイメージ

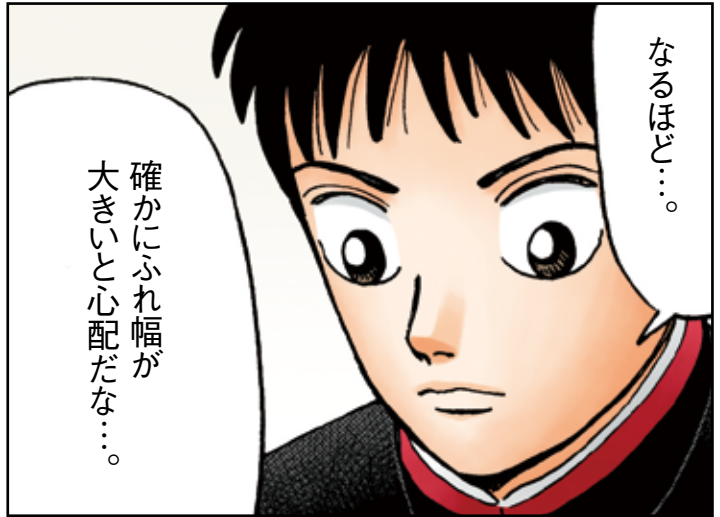


リスクが大きい

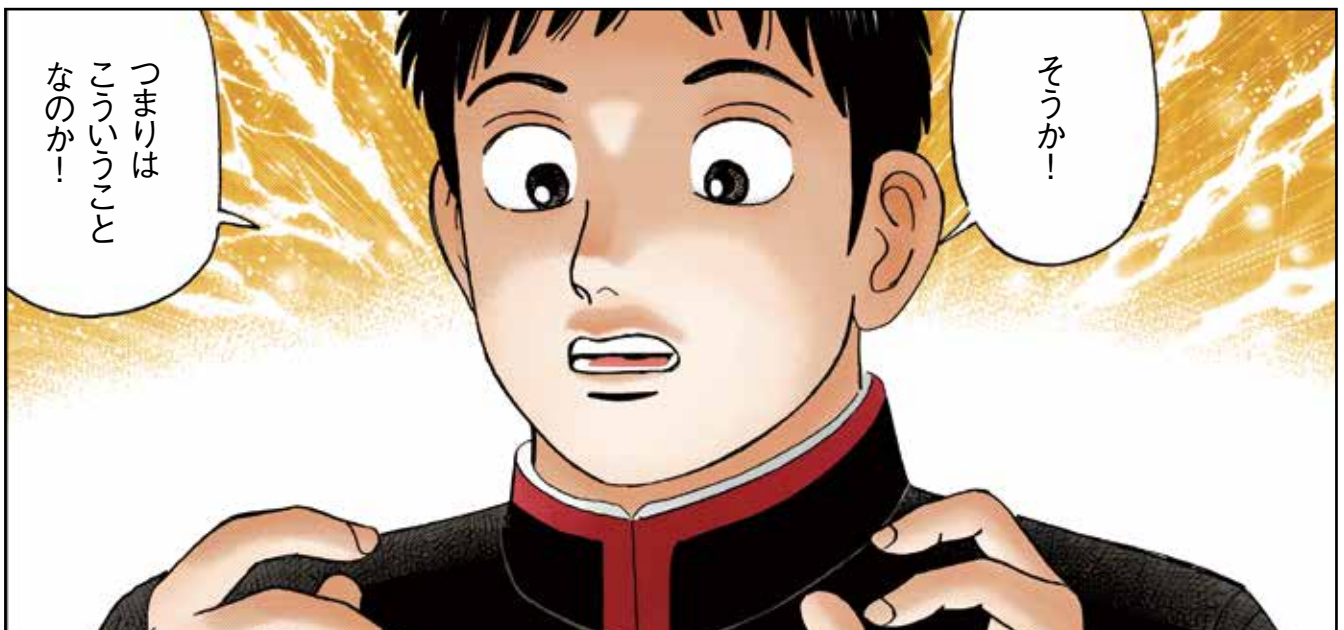
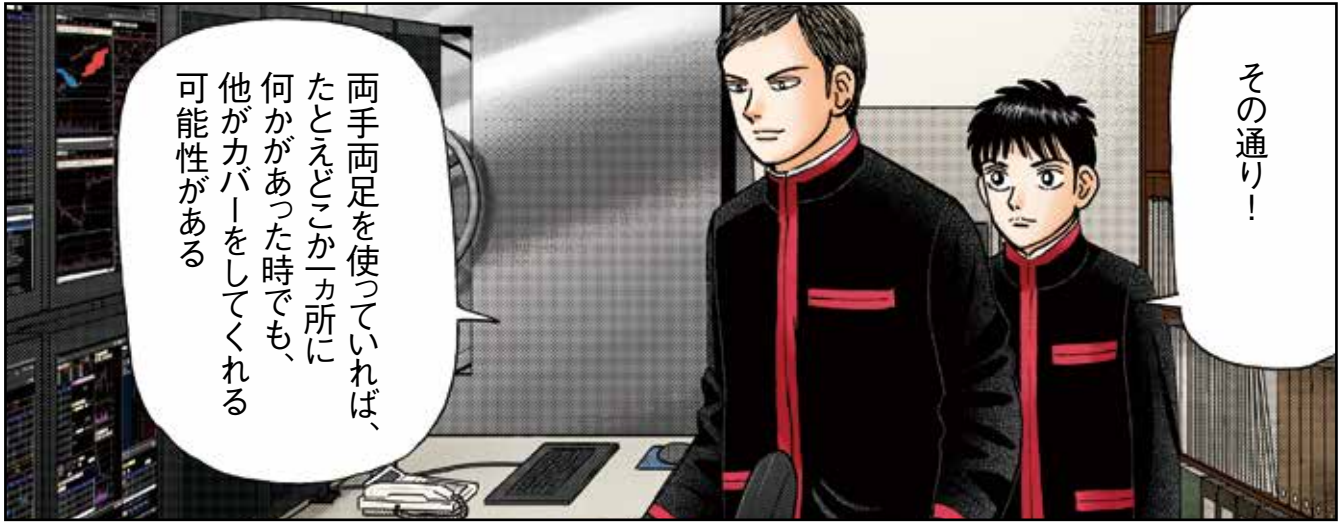


リスクが小さい

リスクの大きい資産は、ふれ幅も大きくなるので、高い収益が期待できる反面、大きく値下がりする可能性もあります。逆に、リスクの小さい資産はふれ幅も小さくなるので、大きく値下がりする可能性は低い反面、期待できるリターンも小さくなります。







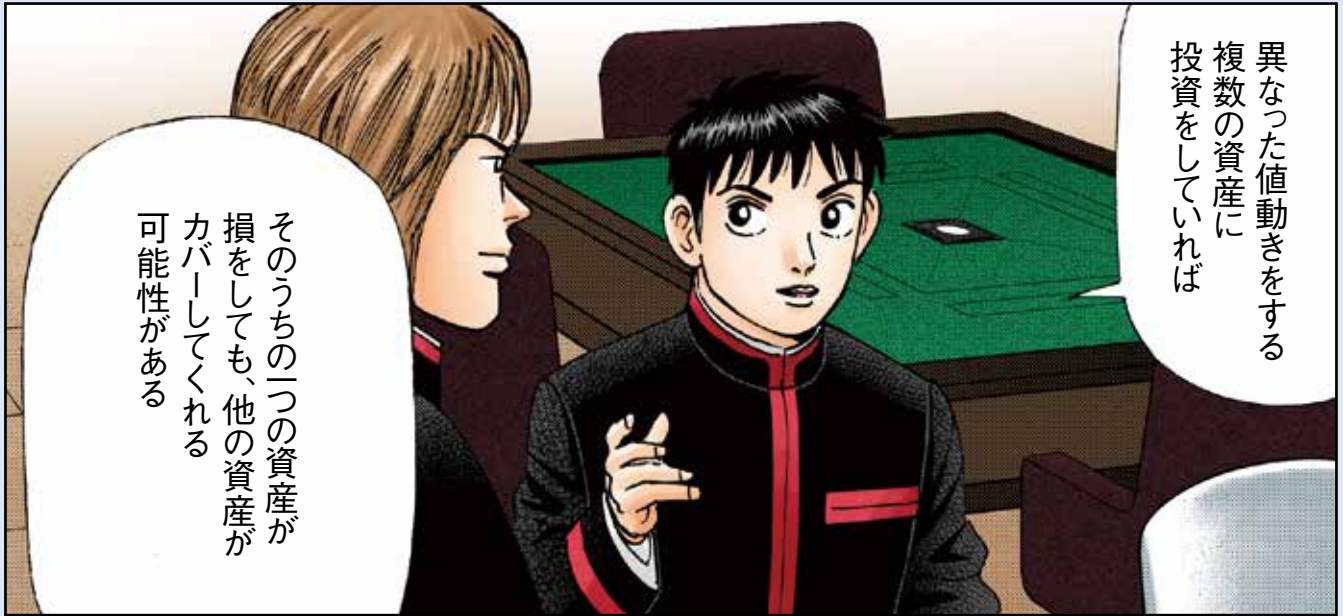
# 分散投資のチカラで



# リスクを抑えた運用

この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。





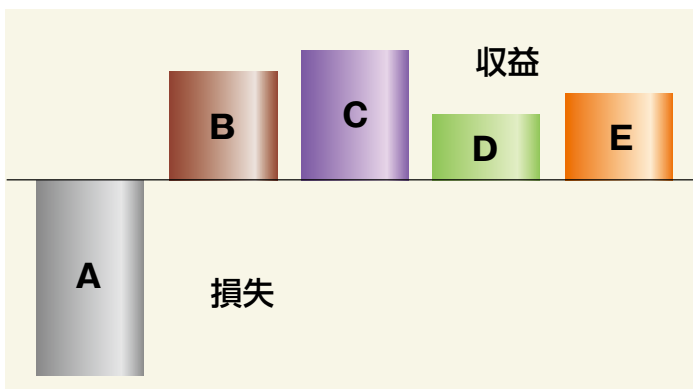
## 知っておきたい 分散投資のチカラ



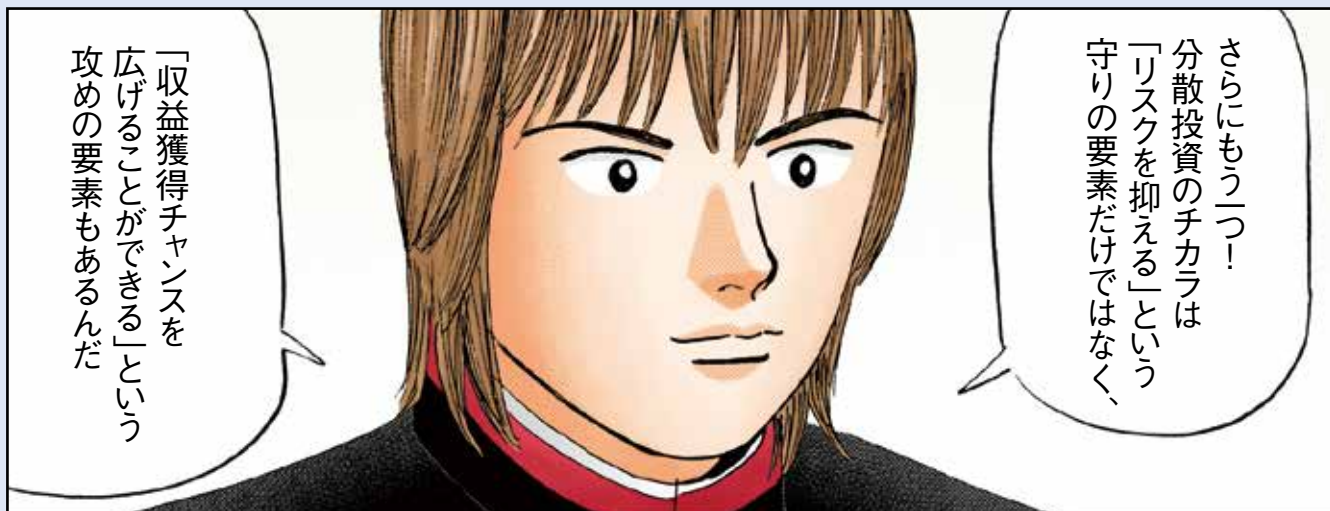
値動きが異なる複数の資産を持つことで、資産の値動きのふれ幅(リスク)を抑えることができます。  
 これが**分散投資のチカラ①**です。



<分散して投資したイメージ>



左の図では、Aの資産が大きく値下がりしたものの、その他の4つの資産が値上がりしています。その合計がAの資産の値下がり分を上回ることによって、利益を出すことができます。このように、分散投資には一つの資産に投資するよりもふれ幅(リスク)を抑える効果があります。



## 知っておきたい 分散投資のチカラ

<各資産の1年毎の騰落率>

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	10年間投資
1位	国内株式 45.2%	外国株式 23.8%	外国債券 4.5%	国内債券 3.4%	外国株式 37.7%	国内債券 2.4%	国内債券 1.9%	外国株式 31.9%	外国株式 54.8%	外国株式 21.4%	外国株式 231%
2位	外国株式 24.7%	外国債券 10.0%	外国株式 4.3%	外国債券 -15.5%	分散投資 13.4%	国内株式 1.0%	外国債券 0.2%	国内株式 20.9%	国内株式 54.4%	外国債券 16.4%	外国債券 173%
3位	分散投資 19.4%	分散投資 9.1%	国内債券 2.7%	分散投資 -28.6%	国内株式 7.6%	外国株式 -2.4%	分散投資 -5.8%	外国債券 20.4%	分散投資 32.0%	分散投資 13.1%	分散投資 172%
4位	外国債券 10.1%	国内株式 3.0%	分散投資 0.1%	国内株式 -40.6%	外国債券 7.4%	分散投資 -2.6%	外国株式 -8.9%	分散投資 18.7%	外国債券 22.7%	国内株式 10.3%	国内株式 147%
5位	国内債券 0.8%	国内債券 0.2%	国内株式 -11.1%	外国株式 -52.6%	国内債券 1.4%	外国債券 -12.7%	国内株式 -17.0%	日本債券 1.9%	国内債券 2.0%	国内債券 4.2%	国内債券 123%

各資産のパフォーマンスをみると、順位は毎年変わっており、どの資産が次の年の1位になるのかを予想することはとても難しいことがわかります。

分散投資は、幅広く網をはるように投資をするため、収益獲得チャンスを広げることができます。

これが**分散投資のチカラ**②です。



(注1) データは2005年～2014年。

(注2) 「国内株式」はTOPIX(東証株価指数、配当込み)、「国内債券」はNOMURA-BPI(総合)、「外国株式」はMSCI-KOKUSAIインデックス(円ベース)、「外国債券」はシティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を使用。

(注3) 「分散投資」は「国内株式」、「国内債券」、「外国株式」、「外国債券」を1/4ずつとします。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※ 上記は過去のデータを基に当社が行ったシミュレーションの結果です。

また、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。実際の運用においては、市場動向等の諸条件が異なることによりパフォーマンス等は大きく異なります。



## 分散投資のチカラを味方につけよう!

異なった値動きをする複数の資産に投資をすることで…



### 分散投資のチカラ①

資産の値動きの  
ふれ幅(リスク)を抑えた  
運用が期待できる



### 分散投資のチカラ②

収益獲得チャンスを  
広げることができる

2つのチカラを味方につけることができます。

分散投資は、リスクを抑えた運用ができることが大きなメリットですが、たくさんの資産に分散をするほど、どれか一つの資産が大きく上がったとしても、トータルリターンは限定的になります。つまり、短期的に大きなリターンを獲得する可能性も小さくなってしまいます。しかし、マイナスの場合の損失も小さくすることができるので、中長期の資産運用に有効な方法といえます。



## 重要な注意事項

### 【投資信託商品についてのご注意(リスク、費用)】

#### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等(外貨建資産には為替変動もありません。)の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用の結果として投資信託に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、投資信託は預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

#### ●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆直接ご負担いただく費用……………申込手数料 上限 3.78% (税込)  
……………換金(解約)手数料 上限 1.08% (税込)  
……………信託財産留保額 上限 3.50%
- ◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……………信託報酬 上限年 2.052% (税込)
- ◆その他費用……………監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用(それらにかかる消費税等相当額を含みます。)、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、予めその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由により予め具体的に記載することはできません。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友アセットマネジメントが運用するすべての投資信託(基準日現在において有価証券届出書を提出済みの未設定の投資信託を含みます。)における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等を必ずご覧ください。

- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

[2014年4月1日現在]

- ・当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- ・当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- ・当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ・当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。
- ・当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- ・当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ・当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。